

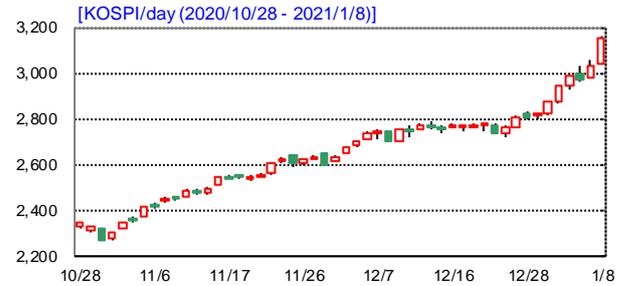


【韓国】 総合指数は 9.7%高と 10 週続伸、来週は 3100 ポイントで値固めか

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 9.7%高と 10 週続伸。韓国景気の早期回復を見越す投資家の買いが入った上、米国でバイデン新政権が大規模な経済対策を打ち出すとの見方から主力株が買われ、ほぼ連日で史上最高値を更新した。週明け 4 日と 5 日は連騰。旺盛な半導体需要などを背景に 2020 年 12 月の韓国の輸出額が 2 年 2 カ月ぶりの伸びとなり、ハイテク株への買いを誘った。6 日は 8 営業日ぶりに反落したが、7 日から再び上げに転じて 3000 ポイントを初めて突破。米ジョージア州の上院選決選投票で民主党が勝利したことで、米国の財政出動への期待が高まった。8 日は 4.0%高と続伸し、終値は 3100 ポイントを超えた。今週は 3100 ポイントで値固めか。韓国銀行（中央銀行）が 15 日に発表する政策金利が材料視されそうだ。

▼指数チャート

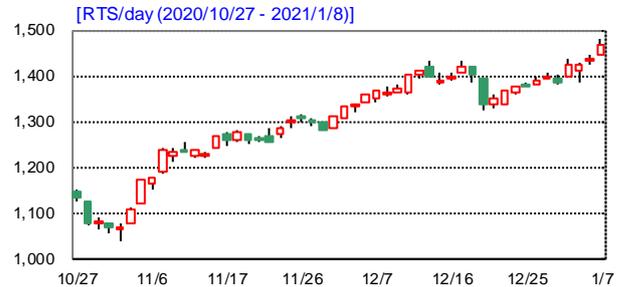


【ロシア】 RTS 指数は 5.7%高と大幅続伸、今週は原油相場をにらんだ展開か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 5.7%高と大幅続伸。ワクチン普及による経済の正常化への期待や原油高が好感された。4 日は指数が前営業日比 2.7%高と反発。海外株高やコロナワクチン普及による景気回復への期待、ルーブル高などが指数を押し上げた。米国で民主党が大統領と上下両院を制する「ブルーウェーブ」が実現し、巨額経済対策への期待から世界的にリスクオンが強まる中、ブレント原油は 1 バレル 55.5 ドルまで上昇した。RTS 指数は休場の 7 日を除き 4 日続伸。1466.50 ドルで引け、終値で昨年 2 月 21 日以来の水準を回復した。個別では、ノリリスク・ニッケルが 12.1%高、ロスネフチが 9.9%高、ノバテクが 9.3%高と資源・エネルギー株が指数を押し上げた。今週はコロナ感染拡大、欧米株価、原油相場をにらんだ展開か。

▼指数チャート



【ベトナム】 ベトナム指数は 5.8%高と 10 週続伸、今週は過去最高値をうかがう展開か

開か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 5.8%高と大幅に 10 週続伸。経済成長見通しを背景に優良株への資金流入が続いた。4 日は優良株が出来高を伴って上昇し、指数は前営業日比 1.5%高と続伸。2021 年の GDP 成長率を 6.5%とした政府見通しも好感され、その後も資金流入が続いた。指数は 8 日まで 6 日営業日続伸し、1167.69 ポイントと 2018 年 4 月 12 日以来の高値で終えた。個別では、金融の軍隊商業銀行が 16.7%高、テクコムバンクが 13.3%高、ベトインバンクが 12.0%高、不動産のノー・バー・ランド・インベストメントが 14.7%高、エネルギーのペトロベトナム・ガスが 7.0%高、鉄鋼のホア・ファット・グループが 3.1%高となり、指数を押し上げた。今週は経済成長見通しを背景に指数は過去最高値の 1211 ポイントをうかがう展開か。

▼指数チャート





【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 4.7%高、今週はワクチンの本格的な接種開始効果に期待

ジャカルタ総合指数は週間で 4.7%高と 3 週ぶりに反発。週後半の上昇が指数を押し上げた。週初の 4 日は、前週に下落した反動や米ドル安ルピア高が進んだ効果で、3 営業日ぶりに反発。5 日は政府が新型コロナウイルスの本格的なワクチン接種を翌週に開始すると発表したことが好感された。6 日はジャワ島とバリ島での行動規制の強化検討が嫌気され、前日比 1.2%安と反落したが、7 日は前日の NY ダウが過去最高値を更新した流れで、1.4%高と反発。8 日は世界的な株高に連動して 1.7%高と続伸した。今週は 15 日に 20 年 12 月の貿易統計が発表される予定で、市場予想から上振れすれば株式相場の追い風か。

▼指数チャート



【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 5.3%高、今週は 3000 ポイントを試す展開か

ストレーツタイムズ指数は週間で 5.3%高と続伸。週初から 5 日続伸と好調だった。連休明けの 4 日は、20 年 10-12 月期の GDP 速報値が前年同期比 3.8%減と市場予想の 4.5%減から上振れた効果などで、指数は反発。6 日まで小幅な上昇が続いた後、7 日は米ジョージア州連邦議会の上院決選投票で民主党が勝利し、前日の NY ダウが続伸した流れを引き継ぎ、前日比 1.5%高と終値ベースで 10 カ月ぶりに 2900 ポイント台に乗せた。8 日はバイデン次期米政権の経済対策への期待感から買われ、さらに 3.0%高と大幅に上昇している。今週は国内の重要イベントが少ない中、3000 ポイントに到達するかが焦点。

▼指数チャート



【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 6.0%高、8 日に終値で 11 カ月ぶりの高値を更新

SET 指数は週間で 6.0%高と反発。週後半は終始 1500 ポイント台で推移した。連休明けの 4 日は中国の 20 年 12 月の財新製造業 PMI が 53.0 と堅調だった効果で指数は前営業日比 1.3%高と反発。5 日は政府が国内全土を対象とする非常事態宣言を 2 月末まで延長したものの、全国規模の都市封鎖を見合わせたことで買われ、前日比 2.6%高と続伸した。6 日は反落したが、7 日に 1.4%高と反発すると、8 日はサウジアラビアが原油の追加減産を表明した効果で先物価格が上昇し、指数はさらに 1.5%高と終値で約 11 カ月ぶりの高値を更新している。今週は国内の経済指標発表が少なく、外部要因に左右される展開か。

▼指数チャート



【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.4%高、空売り禁止措置が 9 カ月ぶりに解除

クアラルンプール総合指数は週間で 0.4%高と 4 週ぶりに反発。週末の上昇が指数を支えた。20 年 3 月に導入された空売り禁止措置解除後の初取引となった 4 日は、ゴム手袋メーカーのトップ・グローブとハルタレガが下げを主導し、指数は前営業日比 1.5%安と続落。5 日は反発したものの、6 日は米上院決選投票の結果待ちによる買い控えて前日比 1.0%安と終値で 1600 ポイントを割り込んだ。ただ、7 日に反動で買い戻されると、8 日は世界的な株高を受けて引け際に買われ、前日比 1.9%高と続伸して取引を終えている。今週は新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、活動制限を巡る動きが指数を左右する展開か。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。